

うと市議会だより



編集 / 議会だより編集委員会

発行 / 宇土市議会 平成22年5月15日発行

宇土市浦田町51番地

TEL 0964-22-1111 FAX 0964-22-6313

<http://www.city.uto.kumamoto.jp>



ふるさとフェスタ in つつじヶ丘

4月29日(木)、交流ジュニアサッカー大会や大縄跳び大会など、つつじヶ丘公園一帯で多くの催しが行われ、多くの人で賑わいました。



CONTENTS

P2～3 平成22年第1回定例会

P4～7 一般質問

P8～9 委員会報告

P10 審議した議案等の議決結果
編集後記

5

平成22年 第1回定例会

第1回定例会を2月16日から3月3日まで16日間の会期で開催しました。

市長提出議案として、平成22年度一般会計予算など予算関係20件、宇土市放課後児童クラブ施設条例など条例関係4件、人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについての人事案件1件、その他1件、議員提出議案として、永住外国人に対する地方参政権付与の法制化に反対する意見書の1件が上程され、いずれも原案のとおり決定しました。

なお、議案の主な内容は下記のとおりです。

条例

◆宇土市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

国家公務員の給与、勤務時間に関する法律が改正されたことに伴い、国に準じて条例を改正するもの。

- ・持ち家への住居手当(1,000円)
- ・当初5年間は2,500円(の廃止)
- ・月60時間を越える時間外勤務(新設)
- ・支給割合150/100

◆時間外勤務代休時間(新設)

右記の支給割合(150/100)と本来の支給割合(125/100)との差額分(25/100)の支給に代えて、時間外勤務代休時間を指定

・施行日 平成22年4月1日

◆宇土市放課後児童クラブ施設条例について

放課後児童健全育成事業を行う児童クラブ施設を設置するため、条例を制定するもの。

- ・宇土小学校児童クラブ施設
- ・宇土東小学校児童クラブ施設



宇土東小学校児童クラブの子どもたち

◆宇土市介護保険基金条例について

宇土市介護保険事業の運営に要する財源を確保するために、介護保険特別会計の剰余金を基金として管理する基金条例を創設するもの。

【主な内容】

- ・基金の積立て、現金の管理に関する規定
- ・運用益金の処理、繰替運用に関する規定
- ・基金の処分に関する規定

◆宇土市文化財保護審議会条例の一部を改正する条例について

宇土市文化財保護審議会を総括する正副委員長職を新たに規定するもの。附則 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正により、文化財保護審議会委員長の報酬額を5,400円と定める。

人事

◆人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

嵯峨忍(任期3年)

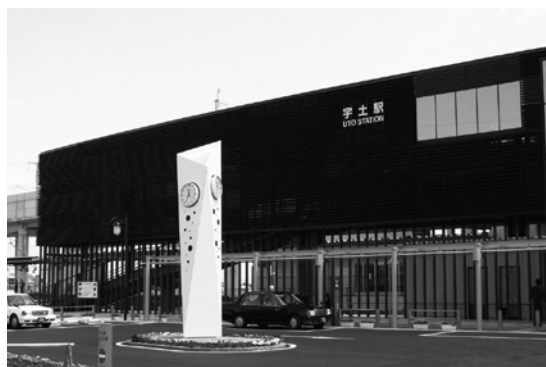
その他

◆鹿兒島本線宇土駅構内自由通路新設工事の施行に関する協定の変更協定の締結について

自由通路新設工事の実施に伴い、安全を考慮し計画されていた仮設用の仮囲いの設置費の減額及び通信制御上特殊な無線ケーブルで列車運行がされている三角線のケーブル張り替え工事の必要がなくなったことなどにより、

協定金額が減額となるため、変更協定の締結に関し議会の議決を求めるもの。

【協定金額】
変更前 6億377万4千円
変更後 5億8,572万円



宇土駅西口

予算

◆平成21年度宇土市介護保険特別会計補正予算(第3号)について

介護保険基金条例制定に伴い、予備費を1億535万1千円減額し、同額を基金積立金に増額するもの。

◆平成21年度宇土市水道事業会計補正予算(第4号)について

補正額は、収益的支出及び資本的支出から1,718万円を減額し、総額を5億8,257万5千円とする。補正の内容は、動力費、水質検査委託料及び宇土駅北側踏切内の推進配管工事に係る工事請負費を減額するもの。

◆平成 21 年度宇土市一般会計補正予算 (第 7 号)

「国の経済危機対策関連事業」として、4 億 7,704 万 3 千円の増額、「その他の通常事業」として、9 億 1,501 万円の減額により、歳入歳出それぞれ 4 億 3,796 万 7 千円を減額し、総額を 154 億 536 万 4 千円とする。

費目 (歳出概要)	補正額 (千円)	歳出の主なもの
総務費	12,552	職員給(退職手当)
民生費	△ 80,964	私立保育所運営費負担金、児童扶養手当経費、子ども手当経費(システム対応業務委託)
衛生費	△ 69,016	宇城広域連合負担金、健康増進事業(各種検診委託費)
農林水産業費	15,701	農村集落整備事業(用排水路改修)、単独一般農道整備事業(農道舗装改良)、単独漁港改修費
商工費	1,261	マリーナ施設整備基金積立金
土木費	185,769	道路維持一般経費、臨時河川等整備事業、橋梁維持一般経費、地方道路等整備事業経費
消防費	△ 5,599	消防団経費(出動報償金)
教育費	△ 484,971	中学校施設管理費、宇土小プール改築事業、宇土小耐震補強改修事業、網津小耐震補強改修事業
災害復旧費	△ 12,700	7.25 大雨災害対策経費

平成 22 年度 一般会計当初予算 (骨格予算)

126 億 8,900 万円 (128 億 5,600 万円)

特別会計 (10 会計) 85 億 1,938 万 5 千円 (86 億 8,283 万 6 千円)

企業会計 (上水道) 5 億 2,075 万 4 千円 (5 億 7,919 万円)

※企業会計は、収益的支出と資本的支出の合計

※各予算額の () 内は、平成 21 年度予算

◆一般会計当初予算歳出概要

平成 22 年度当初予算は、市長選挙の関係で建設事業費などの政策的経費を除いた「骨格予算」であり、前年度比 1.3%、金額で 1 億 6,700 万円の減となっています。

費目 (歳出概要)	予算額	歳出の主なもの
議会費	170,421 (171,654)	議会運営に伴う経費
総務費	1,488,510 (1,349,863)	総合計画作成事務経費、新電算システム経費、国勢調査経費、市長選挙費、市議会議員選挙費、参議院議員選挙費
民生費	5,046,870 (4,402,883)	障害者福祉サービス事業、生活保護扶助経費、私立保育所運営費負担金、子ども手当経費、乳幼児等医療費助成事業
衛生費	960,654 (1,015,712)	予防費一般経費、健康増進事業、母子保健事業、清掃収集業務経費、廃棄物減量化対策経費、浄化槽設置事業
農林水産業費	345,250 (535,209)	中山間地域等直接払制度事業、海岸環境再生事業(緊急雇用)、地籍調査事業
商工費	332,325 (332,069)	特産品開発事業、中小企業等預託融資事業、悪質商法被害防止事業、公共サイン整備事業、コミュニティハウス事業
土木費	474,806 (806,561)	宇土駅自由通路管理費、地方道路等整備事業、公共下水道事業特別会計繰出金、花いっぱい運動事業
消防費	460,579 (482,125)	宇城広域連合負担金(消防費)、消防団経費、熊本県消防ポンプ操法大会経費
教育費	1,406,155 (1,677,992)	宇土小学校耐震改築事業、網津小学校耐震改築事業、外国青年 (ALT) 招致事業、少人数指導対策事業 (小・中)
公債費	1,983,417 (2,061,919)	元金、利子

※予算額の () 内は、平成 21 年度予算 単位：千円



元気いっぱいの子どもたち

子育て家庭における経済的負担の軽減を

子育て支援について



(公明党)

芥川幸子議員

行制度を小学6年生まで拡充する方向で対応していきたくと考えている。

芥川議員 3人乗り自転車の貸し出しについて。

中田健康福祉部長 県外には、多子世帯の経済的な負担軽減の観点から、自転車の貸し出しを行っている自治体もあるようだが、本市では、今後、研究課題としたい。

健康・福祉について

芥川議員 女性特有の乳がん・子宮頸がんの無料検診の対象者が5歳刻みであり、全員がこの検診をきっかけに次の受診に繋がるよう、今後4年間の無料検診の継続をお願いしたい。また、子宮頸がん予防ワクチンについても公費助成をお願いしたい。

中田健康福祉部長 22年度も乳がん・子宮頸がん無料クーポン

券を継続して実施していく計画である。予防ワクチンについては、国、県等の動向を参考に検討していく。

芥川議員 独居高齢者等を対象にした「緊急医療情報キット」の配布について。

中田健康福祉部長 本市では、対象者を災害時要援護者台帳登録者とし、医療・介護情報、健康保険証や顔写真の写しなどを入れた保管容器(命のバトン)等の配布を実施した。

介護問題について

芥川議員 小規模多機能居宅介護事業所の整備計画の進捗状況はどうなっているのか。介護予防をどのように取り組んでいけるのか。

中田健康福祉部長 緑川、網津、網田を一つの日常圏域として一箇所整備する計画をしている。各地区で自主的に介護予防に取り組む「お元気クラブ」を広げていきたい。

中田健康福祉部長 子育て家庭の経済負担の軽減をさらに推し進めるため、一部負担がある現

中田健康福祉部長 子育て関連の情報を集約した使いやすいページが提供できるよう、早急に取り組んでいく。

芥川議員 小学6年生まで、子ども医療費の助成拡充、さらには無料化を早期に実現させてほしい。

芥川議員 子育てに役立つ情報をまとめた専用ページを開設して頂きたい。

中田健康福祉部長 現法案に基づく限り、平成22年度に実施される子ども手当については、学校給食費などの代理納付はできない。

芥川議員 学校給食費の納入方法として、子ども手当からの代理納付制度導入はできないか。



宇土市総合計画（後期基本計画）

活気ある宇土市再生を

宇土市総合計画について



（無所属）

上村雄二郎議員

「い」と思える魅力あふれるまちづくりを目指した取り組みを行っている。

しかし、人口動向を見ると、県南の都市で唯一人口が増え続けていた本市だが、ここに来て減少傾向にある。人口を増加させるためには、宇土駅周辺整備を充実させ、若者の雇用環境を整備する必要がある。

また、来年春には九州新幹線が開業するので、この機会をチャンスとし、今後本市が発展し、市民に期待されるような都市になるような様々な施策を進めていく。

公共施設の建て替えについて

上村議員 中央公民館は、宇土市民全員が使用するとともに宇土地区公民館としての機能も有

し、市民文化活動の拠点施設である。しかし、昭和32年に建設され、すでに53年が経過し、2階の使用には人数制限があるようで、すぐにでも立て替えが必要な施設である。他にも老朽施設があるが、公共施設の建設、改修計画について。

田口市長 中央公民館の建設については、現在の中央公民館と教育委員会が使用している旧税務署の建物との間にある民有地も買収して、一体的に整備しようとする計画もあつたが、今のところそのままになっている。

また、宇土地区公民館については、専用施設はないが、中央公民館、近隣には市民会館、中央公民館分館、就業改善センター等もあり、あまり不便をかけたいないと考えている。しかし今後、市民の様々なコミュニティ活動を支援していくために、生涯学習センターのような施設の建設も、検討していきたい。

市の施設については、補修を行いながら、大切に使うことについては、計画的に整備を行ってきたい。

上村議員 宇土市は周りの町村合併の影響を受け、平成17年から人口が減少し、中心部の宇土地区でも20年から人口の減少が見られる。13年4月に策定され、10年間における宇土市のあるべき姿を描き、まちづくりの指針となる「宇土市総合計画」は本年が最終年度となる。当初の目標を達成できるのか。

田口市長 本市では、総合計画で目標とする「心ゆたかな環境創造の宇土市」の実現を目指し、様々な施策を展開している。特に後期基本計画では、「定住と交流」をテーマとし宇土駅周辺整備や小中学校の耐震化、子育て支援の充実など、誰もが「このまちに住みたい、住み続けた



境目団地跡地

今後の行政と行政区との関係

事業提案型の推進 について



(無所属)

中山新之助議員

中山議員 境目団地の空き地活用策として、将来的には、各種福祉施設や公設民営による多機能型の公民館建設等の思いはあるが、市の財政状況も考え、とりあえず地域住民のふれあいの場として、住民同士が顔の見える、話のできる事業として、跡地の一角を土の入れ替えを施し、農園や公園、花壇などの環境整備を行うべきではないか。

久多見建設部長 今後、住民の方々から地域づくりや、環境づくりの場として利用したいという要望があれば、その時点で利用目的や期間等の具体的な事項について、関係部署と連携し庁内協議を進めていきたい。

町内会と行政との関係 について

中山議員 市長選において、現職市長の後援会が、後援会、選挙活動に嘱託員を運動員として活用することは、どう思われるか。

田口市長 法律で規制されているものについては理解できるが、嘱託員、民生委員、一般職員等それぞれ職務の範囲が法で定められている。地方公務員法で申し上げると、一般職については、宇土市内での選挙活動はできないが他市町村では規制がない。民生委員でも担当する地域では、地位を使った活動はできないと規定している。基本的には憲法で定める法の主旨に則って取り扱われていると思っている。嘱託員、議員もどなた

首長の農業委員会への 登用について

を支持されようがよいと理解している。

中山議員 農業委員会は、執行機関の補助組織として設置されており、首長から独立し、分擔するのが望ましく、また、市民(女性含む)の行政参加の促進から議会推薦といえども委員、会長など辞退すべきではないか。

田口市長 議会推薦については、国・県などから、選任や推薦などについての通達等もあっているが、私自身、市議会から選任をされ、推薦をして頂いている訳であり、その市議会から推薦をされたことに対して、私がどうこう言う立場で無いことに、ご理解して頂きたい。



複合検診（保健センター）

国保被保険者に対する負担軽減の支援策を

国保税の負担増でなく、国へ補助金の増額を求め、負担軽減の継続を



（日本共産党）
福田慧一議員

福田議員 市は平成15年度より

1世帯当り2万円を超える国保税を値下げし、負担軽減を行い、加入者から「国保税が安くなつてよかった」と大変喜ばれている。しかし、不況が続く中、税収が落ち込み、医療費は増加し、国保会計は平成19年度から赤字となったため、その分を一般会計より繰入れ、負担軽減の支援策が取られている。

赤字を理由に議員の中から値上げすべきとの質問も出ていますが、値上げすれば年金生活者や無職の人など所得の少ない加入者が多く、国保税を払いたくても払えない状況となり、税収が落ち込み、国保会計はさらに悪化することは明らかである。

国保会計が厳しくなっている最大の原因は、国の補助金が大幅に減らされているところであり、国に補助金の増額を求めると同時に、値上げではなく、市独自の支援策を継続し、健康診断に力を入れ、病気の早期発見、早期治療など、市民の健康保持に努めるべきではないか。

田口市長 国保税の見直しは慎重に検討する。国保被保険者の

半数以上が、年間所得100万円未満の低所得世帯である。年々増加する医療費の抑制が重要な課題である。各種検診の受診率向上、ジェネリック医薬品の普及に努めたい。

地元での雇用確保と 経済活性化対策を

福田議員 厳しい経済情勢が続

く中、就職が大変困難になっていく。地元での雇用を図るため

に企業誘致を積極的に行うと共に、特別養護老人ホームなどに、入所希望者が多い介護施設などの建設に力を入れ、雇用促進を図るべきではないか。

施設ができれば雇用も生まれ、食料品など地元からの購入も増え、地域経済の活性化にもなると思うが。

中田健康福祉部長 特別養護老

人ホームは県の指定であるため、県計画の中で宇城圏域に40床増が計画されている。本市の次期計画を策定する際、市が指定できる定員30人未満の地域密着型介護老人福祉施設を検討したい。

雇用促進では、厚労省経済対策で重点分野雇用創造事業として、地域人材育成事業があり、活用されている介護施設もある。さらに、介護事業所等に周知していく。

福田議員 この他、農業問題についても質問を行った。

総務市民

総務企画部・市民環境部・その他を所管

2月23日に文教厚生委員会、24日に総務市民委員会、25日に経済建設委員会を開催し、付託された議案等について審査を行いました。その主な内容は、次のとおりです。



芥川幸子委員長

論議された主なものを報告いたします。

まず、ふるさと応援寄附金について、他市ではいろいろな働きかけが行われているが、宇土市では寄附金募集の周知をどのように行っているのかとの質疑に対し、執行部から、本市では、市ホームページにふるさと宇土応援寄附金制度の概要、寄附金に伴う優遇税制、納付方法を掲載し啓発を図っている。また、東京・大阪などで開かれる地元関係者が集まる会合で、パンフレット等を配布し制度の周知を行い、協力をお願いしているとの答弁がありました。

次に、不法投棄対策事業として監視員制度を設けているが、そのほかにも、民間との連携などによる対策は考えているのかとの質疑に対し、執行部から、以前、郵便局に不法投棄情報提供の相談をしたことがあるが、負担金等の関係で協定締結には至らなかった。ただ、今年度よりシルバー人材センターに委託して廃棄物不適正処理巡回監視を行っているとの答弁がありました。

次に、生ゴミの排出量が減少しているように思われる。それに伴い、一般可燃

物に生ゴミが混入され、カラスによる生ゴミ飛散が問題化しているが、その対策は講じられているのかとの質疑に対し、執行部から、燃えるゴミの指定袋をカラスが生ゴミを識別できない黄色の袋に変えるなどの対策は検討しているが、経費等の問題を考慮しながら対応していきたい。また、併せて生ゴミを一般可燃物に混入しないよう市民の皆様へ啓発を促していきたいとの答弁がありました。

以上が、論議された主な内容でありましたが、本委員会に付託を受けました議案については、全会一致で原案のとおり可決いたしました。

次に、請願・陳情について報告いたします。

平成22年 請願第1号 外国人地方参政権付与法案提出に反対する意見書採択を要する請願書については、全会一致で採択。

平成21年 陳情第2号 地方切り捨ての地方分権・道州制は行わず、安全・安心な国土づくりを国に求める陳情書については、全会一致で不採択。

平成21年 陳情第4号 改正国籍法に関する陳情書については、全会一致で継続審査。

平成21年 陳情第5号 平成22年度税制改正及び行財政改革に関する提言については、全会一致で採択。

平成21年 陳情第6号 ぐらし支える行政サービスの拡充を求める陳情については、全会一致で不採択いたしました。

経済建設

経済部・建築部・農業委員会を所管



堀内千秋委員長

論議された主なものを報告いたします。

まず、委員から、平成22年度宇土市公共下水道事業特別会計予算について、質疑がありました。

下水道事業は毎年度、一般会計から繰入れを行っており、22年度予算においても1億5,632万9千円と前年度に比べて1,650万程多くなっている。また、23年度から九州新幹線の全線開通に伴い車両基地分の使用料が見込まれるものの、特別会計の健全化が進むほどの期待はできないと思われるが、今後、下水道事業会計をより健全化していくために、根本的な方策を何か検討しているのか。例えば、使用料の収納率をもっと向上させるとか、あるいは、使用料の金額設定が他市と比較して、高いのか安いのかなど調査、研究をする必要があるのではないかと質疑に対し、執行部から、一般会計からの繰入金は以前に比べると少なくなり、随分、改善されている。滞納者については、21年度から水道課と合せて2名の徴収員を雇用し、徴収事務を改善した。この結果、収納率

は向上しており、今後もさらに徴収強化に取り組む方針であるとの答弁がありました。

次に、平成22年度宇土市一般会計予算に関して、質疑がありました。

まず、ふるさと雇用再生特別基金事業の中心市街地活性化推進事業委託料として343万7千円が計上されているが、どのような事業内容なのかとの質疑に対し、執行部から、緊急雇用対策事業に伴う21年度から23年度までの事業で、県のふるさと雇用再生特別基金事業に商工会が申請され、中心市街地活性化に伴う事業の補助業務のために職員を期間雇用するものであるとの答弁がありました。

また、悪質商法被害防止事業の相談室は、市役所庁舎内に設置するののかとの質疑に対しては、相談業務の充実を図るため、22年度から勤労青少年ホームの1階に消費者生活センターを設置する。21年度は週3回であった相談を週4回に増やし、これまで同様、熊本消費者協会の相談員により対応していただくとの答弁に対し、非常に良い事業なので、市民への周知に力を入れ、取り組んでもらいたいとの意見がありました。

以上が、論議された主な内容ですが、本委員会に付託を受けました議案については全会一致で、原案のとおり可決いたしました。

委員会報告

文教厚生

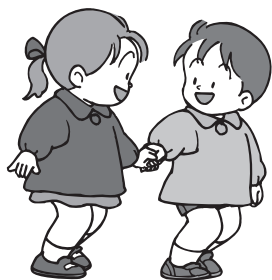
健康福祉部・教育委員会を所管



村田宣雄委員長

論議された主なものを報告いたします。
まず、委員から、保育園の定員を超過して児童を入所させる場合の規制が4月から撤廃されることと、詰め込みなど、保育の環境面への影響が心配であるが、大丈夫かとの質問に対し、執行部からは、規制の撤廃は待機児童の解消策と思われるが、市では今年度、保育園の定員を全体で35人増員する措置もとり、待機児童は発生しない状況である。規制は撤廃されるが、市としては、従来どおり4月は定員の115%までの受け入れ、5月から9月までは125%まで、という基準を継続して適用することにより、児童の詰め込みといった事態につながらないようにしたいとの答弁がありました。
次に、委員から、昨年インフルエンザが流行し、市内の小中学校でも学級閉鎖や学年閉鎖があったと思う

が、閉鎖期間中の授業を補うために、どのような対策を取ったのかとの質疑に対し、執行部から、冬休みが終わるのが1月7日で、8日から3学期が始まるが、宇土小で2日ぐらいい早く授業を始め、授業時数は確保している。特に、中学校においては、入学試験の範囲まで習っていないといけないので、その辺はしっかりと対応してもらい、7時間目までやっているとの連絡を受けており、各学校と連絡を取りながら対応は出来たものと考えているとの答弁がありました。



以上が、論議された主な内容であります。本委員会に付託を受けた議案第13号、14号、21号、23号は賛成多数で、議案第2号、3号、4号、6号、8号、10号、17号、19号は、全会一致で原案のとおり可決いたしました。

地域高規格道路促進等対策特別委員会



岩本廣海委員長

2月17日、執行部出席のもと本特別委員会を開催しました。
まず、熊本・宇土道路の用地取得の状況について、宇土市側は、面積ベースで100㎡増、0.1%の伸び率で、取得面積比率は98.2%となっている。熊本市側では、進捗はあっていない。
工事の状況は、前回からの追加工事はあっていないが、補正予算で2億円が追加され、これで21年度予算総額は17億円となった。また、12月の特別委員会でも、改善要望があった試験盛土近くのハウスメーカーのホコリ対策として、1月中旬に、盛土の表面に雑草の種子拭きつけが実施されている。
また、「熊本・宇土道路」に係る緑川大橋の基部にあたる、「笹原町下ノ割地区道路計画」の地元説明会が開催され、熊本河川国道事務所から、道路計画案が固まったので、この案で了承があれば、幅杭を打たせていただく、測量設計に入りたいとの説明があり、出席されていた地権者の方は、幅杭うちについて、了承されたとの報告があった。
次に、「宇土道路」については、「環境調査」や「地質調査」が、現地において進められている。また、新聞報道で、「宇土道路」の22年度予算は、事業費が「0円から1億

円」で、「凍結候補となっている」という記事が掲載されていたが、熊本河川国道事務所の担当者から、そう言った情報を出した事実はなく、まだ分からない状況である。関連して「熊本・宇土道路」の22年度予算も、「9億から12億円」の箇所付けがされているが、まだはっきり分からない状況であるとの説明がありました。
以上の報告を踏まえ、委員会で論議された主な内容として、まず、委員より、熊本・宇土道路の地権者9人の用地買収が済んでいないが、その理由は何か。との質疑に対し、主な理由として、用地買収開始当時に比べて地価が下落したことにより、買収単価も安くなっている。価格面で同意が得られず交渉されている。また、登記業務上の問題でスムーズにいかないケースもあるとの説明が、執行部からありました。
また、宇土道路のボーリング調査は何箇所されるのか。また、環境調査の進捗状況はどうかとの質疑に対しては、ボーリング調査は6箇所、環境調査は、その周辺環境にどのような生物が生息しているのか調査されている。その他、大気に関する調査や国道の振動など調査されているとの説明がありました。
これに対し、今年度中に調査結果をまとめられ、宇土道路のルートを決定されるのかとの質疑に対しては、22年度の0円から1億円の予算は、ルート決定のための調査費を計上される可能性がある。ボーリング調査の結果や環境調査、水質調査などの分析を行った後に、ルートを決定されるのではないかと説明が、執行部からありました。

審議した議案等の議決結果

【市長提出議案】

番号	件名	議決の結果	付託委員会
第1号	宇土市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決	総務市民
第2号	宇土市放課後児童クラブ施設条例について	〃	文教厚生
第3号	宇土市介護保険基金条例について	〃	〃
第4号	宇土市文化財保護審議会条例の一部を改正する条例について	〃	〃
第5号	鹿児島本線宇土駅構内自由通路新設工事の施行に関する協定の変更協定の締結について	〃	経済建設
第6号	平成21年度宇土市一般会計補正予算(第7号)について	〃	総務市民 経済建設 文教厚生
第7号	平成21年度宇土市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	〃	経済建設
第8号	平成21年度宇土市奨学基金特別会計補正予算(第3号)について	〃	文教厚生
第9号	平成21年度宇土市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	〃	経済建設
第10号	平成21年度宇土市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	〃	文教厚生
第11号	平成21年度宇土市漁業集落排水施設整備事業特別会計補正予算(第2号)について	〃	経済建設
第12号	平成21年度宇土市水道事業会計補正予算(第4号)について	〃	〃
第13号	平成22年度宇土市一般会計予算について	〃	総務市民 経済建設 文教厚生
第14号	平成22年度宇土市国民健康保険特別会計予算について	〃	文教厚生
第15号	平成22年度宇土市簡易水道事業特別会計予算について	〃	経済建設
第16号	平成22年度宇土市北段原土地地区画整理事業特別会計予算について	〃	〃
第17号	平成22年度宇土市奨学基金特別会計予算について	〃	文教厚生
第18号	平成22年度宇土市公共下水道事業特別会計予算について	〃	経済建設
第19号	平成22年度宇土市老人保健医療特別会計予算について	〃	文教厚生
第20号	平成22年度宇土市土地取得特別会計予算について	〃	経済建設
第21号	平成22年度宇土市介護保険特別会計予算について	〃	文教厚生
第22号	平成22年度宇土市漁業集落排水施設整備事業特別会計予算について	〃	経済建設
第23号	平成22年度宇土市後期高齢者医療特別会計予算について	〃	文教厚生
第24号	平成22年度宇土市水道事業会計予算について	〃	経済建設
第25号	平成21年度宇土市一般会計補正予算(第8号)について	原案可決	
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	原案答申	

【議員提出議案】

番号	件名	議決の結果
発議第1号	永住外国人に対する地方参政権付与の法制化に反対する意見書	原案可決

請願	受理番号	請願・陳情の件名	付託委員会	議決結果
継続審査になっている陳情	平成22年1	外国人地方参政権付与法案提出に反対する意見書採択を要望する請願書	総務市民	採択
	平成21年2	地方切り捨ての地方分権・道州制は行わず、安全・安心な国土づくりを国に求める陳情書	〃	不採択
	平成21年4	改正国籍法に関する陳情書	〃	継続審査
	平成21年5	平成22年度税制改正及び行財政改革に関する提言について	〃	採択
	平成21年6	くらし支える行政サービスの拡充を求める陳情	〃	不採択

編集後記

風薫る5月、新しい制服を着て迎えた入園式、入学式から早1ヶ月。子どもたちも新しい環境に慣れ、元気な声が園庭や校舎に響き渡っていることでしょう。

本市は昨年、宇土市教育立市プラン～教育のまちづくりを目指して～を策定しました。

子どもの育成は、未来を建設することだと思います。「未来を思えば、希望の翼が広がる。教育という未来を創る事業は、希望と共にある。」とは、私の恩師の言葉です。

宇土の未来を創る宇土ったちが、世界に羽ばたいて行けるように、議会として教育環境づくりに真剣に取り組んでいきたい。

市議会からのお知らせ

市のホームページで、本会議の議事録を公開しています。

なお、平成22年第1回定例会の議事録は、次回、第2回定例会以降、閲覧可能です。

【アドレス】

<http://www.city.uto.kumamoto.jp>

【お問い合わせ】

0964-22-1111 内線 2611

